

研究課題名	周産母子医療センターネットワークの構築およびハイリスク児のアウトカム分析
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科小児科学 周産母子センター 助教 早川 誠一
研究期間	2019年12月23日(提供の許可日)～
対象者	2011年12月から広島大学病院小児科で32週未満の早産児または極低出生体重児による治療を受けられた患者。
意義・目的	近年、低出生体重児などのハイリスク児は増加していますが、新生児死亡率は減少を続けており新生児医療技術の向上が示されています。しかし、低出生体重児の予後を向上させる余地は依然として残されています。今回、ハイリスク児を対象とした全国規模のデータベースに登録することで、各施設における診療実態の把握、さらに予後に関連する診療内容の標準化によるハイリスク児の予後改善を目的として、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は母体情報、妊娠合併症、分娩情報、新生児情報、新生児呼吸器疾患、新生児循環器疾患、新生児神経疾患、新生児感染症、新生児消化器疾患、聴覚スクリーニング、未熟児網膜症、診断、サマリー、退院情報、退院時発達予後見込み、予後（修正18～24ヶ月）、予後（3歳）です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	NPO 法人新生児臨床研究ネットワーク Webにて登録を行い NPO 法人新生児臨床研究ネットワーク（研究責任者 楠田聡、データ担当 平野慎也）が解析します。
試料・情報の管理責任者	杏林大学医学部小児科 客員教授、NPO 法人新生児臨床研究ネットワーク 楠田聡
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5212 広島大学病院周産母子センター 助教 早川 誠一